

令和元年度 勝山高校生 市長と語る会 参加生徒の感想



荒木 裕二さん

今日の市長と語る会を通してまず考えたことは、市長が勝山をよりよくすることにとても強い思いを持っているということでした。一つ一つの発表を熱心に聞いたり、メモを取ったりして、高校生のアイデアがそのまま市に届くところを目の当たりにできたと感じました。また、発表に対するアドバイスも、その発表に関するだけでなく、僕たちのこの先の進路に関して触れたり、さらに別の視点から広げた考えを僕たちに下さったりと、大変ためになることを知ることができました。参加して本当に良かったです。

木下 麻梨さん

私は国家戦略特区に勝山市が入るという提案をしました。発表ははじめすごく緊張してうまくプレゼンできるか不安だったけど、市長さんがとても優しく、ひとりの発表につき、たくさんのアドバイスをほめ言葉を下さり、とてもうれしかったです。市長さんのお話の中にはまだ私たちが知らないことがたくさんあり、初めて知ることもしばしばありました。今回、市長と語る会に参加することができて、本当に良かったし、懐かしい先生方にも会えてうれしかったです。

齋藤 健人さん

高校では理系の生物を勉強しています。そこで、日々の授業で学んだことをこの提案に生かせないかと考え、自然保護について発表させていただきました。私は幼いころから、山では虫と、川では魚と遊んできました。そのような素晴らしいこの勝山をずっと残していただくと嬉しいです。また、とても多くの方が勝山の発展のために様々な仕事をしているのだと感じました。これまで無関心だった行政についても興味を持ちました。本日は本当にありがとうございました。

村上 雄哉さん

一番緊張したのは、会が始まる前の自己紹介の練習でした。しかし、本番は、僕が一番言いたかった「鮎を増やす！」ということをしっかり話せたと思います。ただ、今回の発表のままでは、勝山の鮎を増やすためにはまだまだ浅いので、大学に入ってから、自ら調べ、今の問題を解決しようと改めて思いました。将来は、鮎を増やすために、そして、自分自身ももっと鮎釣りを楽しむために、鮎に関する仕事に就きたいと思っています。

野尻 愛佳さん

この機会を通して、勝山の良さを再確認できました。雰囲気は和やかで話しやすかったです。何より市長が熱心に笑顔でプレゼンテーションを聞いてくださったので嬉しかったです。勝山について新たな気づきもあったので、参加して良かったと感じています。短い時間で密度の濃い内容になりました。勝山は田舎で面積も小さいですが、人の心は温かいし、よく考えてみるとたくさんの観光地があるし、自然豊かだし、誇れるものがたくさんあります。高校を卒業したら県外に行く予定ですが、たくさんの人に勝山を広めて、たくさんの県外の人を引き連れて勝山に帰ってきます。ありがとうございました。

林 美里さん

最初は学校の総合学習として始めて、何も考えずに淡々と調べ学習をしていましたが、やっていくうちに、自分でもちゃんとわかっていなかった勝山のことをよいところも困るところも多く知ることができました。その知ったことをふまえて自分たちなりに考えた創生案を市長にお見せすることになるとは思ってもいなかったのですが、とても緊張したし不安もありました。ですが、市長はとても熱心に聞いて下さって、自分たちの創生案に対する評価や意見のお言葉を下さったので、終わった後はとても達成感がありました。3年間の長かった調べ学習のとても良い集大成となりました。ありがとうございました。

壺内 美思さん

実際に自分の口から市長さんとお話する機会は貴重なことであり、そして、直接、その場でご高評をいただけるのはとても光栄なことでした。3年間、何度も練り上げてきた勝山創生案だったので、褒めて下さったときはすごく嬉しかったです。この活動、そして、この会を通して、少しでも勝山の力になることができたのであれば幸いです。私は勝山市が大好きなので、これから先もずっと勝山市が生き続け、誇れる地元になるように、微力ながら貢献していきたいです。

杉本 準飛さん

この度は、このような有意義な会に参加させていただき誠にありがとうございました。自分の将来のこと、行政のこと、そして、これからの勝山のことを改めて考える機会となりました。勝山がよりよい町になるためには、若者から年配の人まで勝山市民全員の協力が必要になると思うので、これからもこのような会を積極的に開き、市民全員での町おこしができればいいのではないかと思います。

細野 邦彦さん

この創生案を考えるまでは、自分の町について好印象であっても、どこが良いかという具体的なところを考えたことはありませんでした。勝山について考えを深めることができたこの会はとても有意義でありました。また、同世代の意見を聞くことができたので、他の生徒がどのように考えているのかも知ることができ、刺激になりました。